

入院システムの選択について

当院では基本的には母児別室ですが、ご希望の方には母児同室入院のシステムも選択していただけます。

<母児別室入院>

出産後お母様に十分休養をとっていただけるシステムです。出産後2時間カンガルーケアを実施し、赤ちゃんは新生児室でお預かりします。授乳開始後はお母様に授乳室に来ていただきます。夜間はスタッフが赤ちゃんをお預かりしますので、ゆっくりお休みいただけます。

育児指導、授乳指導も実施いたしますので、育児の練習は問題ありません。

<利点> 出産後お母様がゆっくり休養を取れるため、体力の回復が早く、退院後の疲労が少なくなります。

面会時間内であれば制限がありません。(自室内でお子様、ご友人の面会もできます)

赤ちゃんをスタッフがお預かりするので、異常の早期発見ができます。

清潔な新生児室で過ごしますので、外部からの感染の危険が少なくなります。

授乳室での授乳で、ほかのお母様との情報交換ができます。また、授乳室には常にスタッフがおりますので、授乳の介助が密にできます。

<欠点> 赤ちゃんに触れ合う時間が少し少なくなります。(夜間)

カンガルーケア終了後はお母様以外赤ちゃんに直接接触することができません。(ガラス越しの面会になります)

<母児同室入院>

産後3日目朝より（帝王切開の場合は5日目以降）赤ちゃんと同じお部屋で過ごします。授乳は基本的には自室で行います。介助を希望の方は授乳室での授乳も可能です。赤ちゃんの観察、お世話はお母様中心にさせていただきます。

<利点>赤ちゃんの扱いに早く慣れることが出来ます。

授乳の回数が頻回になるので、母乳分泌が早期に確立できやすいといわれています。

<欠点>育児の時間、夜間の授乳などにより、お母様の疲労があります。

外部との接触機会が多くなるので赤ちゃんの感染の危険性が高くなるといわれています。

そのため面会の制限（家族以外の入室の禁止、特にご兄弟以外のお子様の面会の禁止）

をさせていただきます。

室内での授乳の場合授乳指導が頻回には行えない場合があります。

赤ちゃんの状態が急変した場合、発見が遅れることがあります。

母児同室を希望される場合は、面会は時間内(午前8時から午後8時まで)に短時間をお願いいたします。室内への面会（赤ちゃんへの直接の面会）は感染予防のため、ご家族（夫、ご両親、赤ちゃんのご兄弟）のみに限定させていただきますので、ご了承ください。また、ご家族であっても体調不良の方、長時間のお子様の面会はお断りさせていただきます。セキュリティ面の徹底から、指導、診察、シャワーなどで比較的長時間お部屋を離れられる場合必ず赤ちゃんを詰所に預けてください。

赤ちゃんやお母様の体調によっては同室をお断りする場合があります。

母児同室を希望される場合は、セキュリティやその他の点をご理解の上で、同意書を提出していただきます。また、安全管理のためトイレ付き個室または特別室での入院をお願いしています。

当院では入院予約金を36週の健診時に分娩依頼書、入院問診表とともにお預かりしております。直接支払い制度を利用される方は分娩予約金として5万円を、利用されない方は40万円を36週の健診時にお支払い下さい。保険証も一緒にお持ち下さい。

(都合上お支払い時期の変更をご希望される方は受付にてご相談下さい。)

また早期からのおっぱいのお手入れが重要になります。具体的なお手入れ方法をご存じない方は、マザークラスや助産婦外来にてお尋ねください。

その他ご不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい。